

令和6年度第日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練に参加しました

令和6年6月15日（土）、和歌山県消防学校にて第28回日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練が実施しました。

本訓練は第4ブロックにあたる近畿2府4県の赤十字施設の救護班等が一同に会して、大規模災害時に必要な医療、保健・衛生等の知識全般と、さまざまな状況に適切に対応できる能力を習得し、ブロック全体の災害対応能力の向上を目的としています。

兵庫県支部からは姫路赤十字病院、多可赤十字病院、神戸赤十字病院の救護班等が参加し、訓練に臨みました。また、姫路赤十字看護専門学校からは訓練負傷者役としても学生が訓練協力してくれました。

本訓練は南海トラフ地震を想定し、和歌山県内に多数の負傷者や避難者が出ており、喫緊の医療が求められている状況のもと、日赤として救護派遣を行い、救護所や避難所で医療活動を展開する内容であり、救護所では日赤の医療資材であるdERU（国内型緊急対応ユニット）を実際に展開する等、実践さながらの訓練となりました。

令和6年能登半島地震での活動経験もあり、訓練を通して、参加者がお互い協力しながら訓練に取り組む様子が見受けられ、例年に増して熱の入ったとても有意義な訓練となりました。



